

# デーヴォ ガイド



**2023.12.18-24**

But **grow** in the grace and knowledge of our Lord and Savior Jesus Christ. To him be glory both now and forever! Amen. II Peter 3:18

## L T G ガイド

- ①お互いへの感謝と誉めることを分かち合しましょう。(2~3つ)
- ②1週間の罪を言い表して悔い改め、互いに祈りましょう。
- ③礼拝メッセージの分かち合いをします。  
礼拝メッセージの分かち合いが難しい場合はディボーションの分かち合い(なるべく短く)
- ④預言の祈り(主の御心を宣言して祈り)をします。

L T G Guide

## セル ガイド

- ①祈り、賛美によって主がここにいてくださることを信じ、聖霊様があがめます。
- ②互いの存在を感謝し、尊敬するところを分かち合しましょう。
- ③ディボーションの分かち合いをします。
- ④セルの目的と働きについてみなで共有して、祈り、遣わされて行きましょう。

## 家族礼拝ガイド

年長のクリスチャンがリードしてください。進め方にはいろいろな意見が出るかもしれませんが、「主に期待する」信仰が最も大切です。いつもの家族でいいのです。

- ①この1週間で神様はすばらしいと感じたのはどんなこと?
- ②この1週間でお互いにどんなことを感謝しますか?(または誉めたいですか?)1つだけ。
- ③聖書のみことばから、どんな実践をして、またどんな恵みがありましたか?
- ④互いの必要のために祈りましょう。

Cell Group Guide

## 礼拝メッセージフィードバック

<今日の聖書箇所は…>

①神のみこころは?(信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど)

②どんな思いになりましたか?(感情や願いなど)

③生き方にどう適用しますか?(あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか?)

④この世にあって何を実践しますか?

Family Worship



26:13 怠け者は「道に獅子がいる。広場に雄獅子がいる」と言う。

26:14 戸はちょうつがいので向きを変える。怠け者は寝床の上で。

26:15 怠け者は皿に手を伸ばしても、その手を口に持って行くのを面倒がる。

26:16 怠け者は、良識ある答えをする七人の者よりも、自分を知恵のある者と思う。

26:17 自分に関係のない争いにいきり立つ者は、通りすがりの犬の耳をつかむ者のようだ。

26:18 気がふれた者は、燃え木を死の矢として投げるが、

26:19 隣人をだましながらか、「ただ、戯れただけではないか」と言う者も、それと同じ。

26:20 薪がなければ火が消えるように、陰口をたたく者がいなければ争いはやむ。

26:21 炭火に炭を、火に薪をくべるように、口論好きな人は争いをかき立てる。

26:22 陰口をたたく者のことばは、おいしい食べ物のごとく。腹の奥に下って行く。

26:23 燃える唇も、心が悪いなら、質の悪い銀を塗った土の器。

26:24 憎んでいる者は、唇で身を装うが、心のうちに欺きを潜めている。

26:25 声を和らげて語りかけてきても、信じるな。その心には七つの忌み嫌われるものがある。

26:26 憎しみはうまくごまかし隠せても、彼の悪は集いの中で現れる。

26:27 穴を掘る者は、自分がその穴に陥り、石を転がす者は、自分の上にそれを転がす。

26:28 偽りの舌は、虐げられている者を憎み、

滑らかな口は滅びを招く。

22章にも「怠け者」のことが書かれていますが、ここではさらに多く述べられています。13節のような言い訳は無責任と同等です。自分でやらなかったことを説明して、その理由になっているつもりでも、人からは根拠のない言い訳かもしれません。

15節のように、せっかく途中までした仕事を無駄にしないように、気をつけましょう。

「争いにいきり立つ」とあります。感情的な反応で関わりを持ってしまわないように。もしもトラブルの調整役になろうとするなら、よく主に祈って、主のみこころだけを行いましょう。それには献身が必要で、犠牲を覚悟しなくてはなりません。それができないようなら、良い格好をすることは控えましょう。

「集いの中で」とあります。特に主の集会では聖霊が働かれます。自分を良く見せかけても、明かにされ、人々は見抜きます。完璧な者はいませんから、正直でありましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



## ➤ 19日 火曜

### 箴言



27:1 明日のことを誇るな。一日のうちに何が起るか、あなたは知らないのだから。

27:2 自分の口ではなく、ほかの者にあなたをほめさせよ。自分の唇ではなく、よその人によって。

27:3 石は重く、砂にも重みがある。しかし、愚か者の奇立ちはどちらよりも重い。

27:4 憤りは残忍で、怒りはあふれ出る。しかし、ねたみの前には、だれが立ちはだかることができるだろうか。

27:5 あからさまに責めるのは、ひそかに愛するより良い。

27:6 愛する者が傷つけるのは誠実による。憎む者は多くの口づけでもてなす。

27:7 満ち足りている者は蜂の巣の蜜も踏みつけ、飢えている者には苦い物もみな甘い。

27:8 自分の巣を離れてさまよう鳥のように、人は自分の家を離れてさまよう。

27:9 香油も香も心を喜ばせる。友の慰めは自分の考えにまさる。

27:10 あなたの友、あなたの父の友を捨てるな。あなたが災難にあうとき、兄弟の家に行くな。近くにいる隣人は、遠くにいる兄弟にまさる。

27:11 わが子よ、知恵を得よ。私の心を喜ばせよ。そうすれば、私をそしる者に、私は言い返すことができるだろう。

27:12 賢い人はわざわいを見て身を隠し、浅はかな者は入って行って痛い目にあう。

「明日のこと」はわからないものです。どんなに自信があっても、謙遜でありましょう。

「ほかの者にほめさせよ。」とあります。自画自

賛はあまり効果はありません。むしろマウントをとりたいのか、自慢したいのかと思われて印象が悪くしますから、そのような自分に気づきましょう。

「ねたみ」に気をつけ、ねたみを葬り去り、ねたみを悔い改めましょう。それによって、他の人もその人自身のねたみに気づくでしょう。

「あからさまに責める」ことも時には必要です。その場合「愛する者」として、責任と自己犠牲の決心をするくらいに、その人のことを大切にしましょう。責めるときには、人前かどうかに関して配慮が必要ですが、本人によく分るように、愛を持って指摘することが必要です。そのような信頼関係で交われる信仰の友は、大切です。慰める者となりましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



## 20日 水曜

### 箴言



27:13 他人の保証人となるときは、その者の服を取れ。見知らぬ女のためにも、服を抵当に取れ。

27:14 朝早くから、大声で隣人を祝福すると、かえって呪いに見なされる。

27:15 長雨の日に滴り続ける雨漏りは、争い好きな女に似ている。

27:16 その女を制する者は、風を制し、右手に油をつかむことができる。

27:17 鉄は鉄によって研がれ、人はその友によって研がれる。

27:18 いちじくの木番人はその実を食う。主人の身を守る者は誉れを得る。

27:19 顔が、水に映る顔と同じであるように、人の心は、その人に映る。

27:20 よみと滅びの地は飽くことがなく、人の目も飽くことがない。

27:21 銀にはるつぼ、金には炉があるように、人は他人の称賛によって試される。

27:22 愚か者を臼に入れ、きねでこれを麦と一緒にについても、その愚かさは彼から離れない。

27:23 あなたの羊の様子をよく知り、群れを心に留めておけ。

27:24 富は永久に続くものではなく、王冠も代々に続かないからだ。

27:25 草が刈り取られ、若草が現れ、山々の青草も集められると、

27:26 子羊はあなたに服を着させ、やぎは畑の代価となる。

27:27 やぎの乳は十分あって、あなたの食物、あなたの家の者たちの食物となり、あなたの召使いの女たちを養う。

「保証人」に関しては、箴言に4回も出てくるほど警戒が与えられています。人間的なヒロイズムで決めてしまわないように、その危険性を十分に考えましょう。忘れてならないことは、自分の財産は主のものであって、お預かりしているのだということ。その財産の用い方には主のご計画があるのだということです。無益に失うようなことは主のみことろではありません。主に聞きましよう。

「友によって研がれる」ような、互いに励まし合う者となりましよう。

「王冠も代々には続かない」とあります。王のような誉れや評判には魅力がありますが、それらははかないものです。本当に価値のあるものは何かをよく考えましよう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



## 21日 木曜

### 箴言

28:1 悪しき者は、追う者もいないのに逃げるが、正しい人は若獅子のように頼もしい。  
28:2 国に背きがあるときは、首長が多くなるが、判断力と知識のある一人の人により、安定は続く。  
28:3 弱い者を虐げる貧しい者は、押し流して食物を残さない豪雨のようだ。  
28:4 おしえを捨てる者は悪しき者をほめる。おしえを守る者は彼らに敵対する。  
28:5 悪人はさばきをわきまえない。【主】を尋ね求める者はすべてのことをわきまえる。  
28:6 貧しくて、誠実に歩む者は、富んでいて、曲がった道を歩む者にまさる。  
28:7 分別のある子はおしえを大切にす。放蕩する者と交わる者は、父に恥をかかせる。  
28:8 利息や高利によって財産を増やす者は、貧しい者たちに恵む者のためにそれを蓄える。  
28:9 耳を背けておしえを聞かない者は、その祈りさえ忌み嫌われる。  
28:10 直ぐな人を悪い道に迷わす者は、自分の掘った穴に陥る。しかし、誠実な人たちは幸せを受け継ぐ。  
28:11 富む者には自分が知恵のある者に見える。しかし、分別のある貧しい者は、彼を調べる。  
28:12 正しい人が喜ぶと、大いなる栄えがあり、悪しき者が立ち上がると、人は身を潜める。  
28:13 自分の背きを隠す者は成功しない。告白して捨てる者はあわれみを受ける。  
28:14 幸いなことよ、いつも恐れる心を持つ人は。しかし、心を頑なにする者はわざわざい陥る。



「正しい人」を主は守り、その義をなることを表されます。ですから正しいことを行い、確信と勇気のある生き方をしましょう。主の正しいみこころを実現しようとするなら、神に反する人々との軋轢（あつれき）は生まれます。勇気を持ちましょう。主が味方となってくださいます。

「利息」「や「高利」のように自分で働かずに手に入れた財産は、結局その人のものにはならず、神様が彼から取り上げて、貧しいものに渡るようにされます。

「そむきの罪」を知られてしまうと、評判を落として失敗しそうですが、その逆です。神がおられます。成功は神様が与えてくださるのです。告白」することによって、神様の御手に委ねることができ、そしてあわれみを受けることができます。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



## 22日 金曜

### 箴言

- 28:15 貧しい民を治める悪しき支配者は、うなる雄獅子、襲いかかる熊のようだ。
- 28:16 英知を欠く君主は、多くの物を強奪する。不正な利得を憎む者は、齢を延ばす。
- 28:17 流血の咎に苦しむ者は、墓まで逃げる。だれも彼を助けてはならない。
- 28:18 誠実に歩む者は救われ、その道が曲がっている者はただちに倒れる。
- 28:19 自分の土地を耕す者は食糧に満ち足り、空しいものを追い求める者は貧しさに満ち足りる。
- 28:20 忠実な人は多くの祝福を得る。しかし、富を得ようと急ぐ者は罰を免れない。
- 28:21 人を偏り見るのは良くない。人は一切れのパンで背く。
- 28:22 貪欲な人は財産を得ようと焦り、欠乏が自分に来るのを知らない。
- 28:23 人を叱責する者は、後になって、舌でへつらう者よりも恵みを得る。
- 28:24 父母の物をかすめていながら、「背いていない」と言う者は、滅びをもたらす者の仲間。
- 28:25 欲の深い人は争いを引き起こす。しかし、【主】に拠り頼む人は豊かにされる。
- 28:26 自分の心に頼る者は愚かな者、知恵をもって歩む者は救われる。
- 28:27 貧しい者に施す者は不足することがなく、目をそらす者は多くののろいを受ける。
- 28:28 悪しき者が勢いを増すと、人は身を隠し、彼らが滅びると、正しい人が増える。

「自分の畑を耕す」というのは地味な仕事です。自分をもっとすごいことができると思いたくなるかもしれませんが。しかし、そのような夢物語のむなし



さを追っても、結果はついてきません。主から自分に与えられたものが、何故自分に任せられているのかを、よく考えてその意義に気づきましょう。「自分の父母の物」は大目に見てもらえそうですが、それに甘えてしまえば、社会との関係が歪んでしまいます。いつか「滅び」へと向かいますから、甘えないようにしましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



## 23日 土曜

ヨハネ



4:7 一人のサマリアの女が、水を汲みに来た。イエスは彼女に、「わたしに水を飲ませてください」と言われた。

4:8 弟子たちは食物を買いに、町へ出かけていた。

4:9 そのサマリアの女は言った。「あなたはユダヤ人なのに、どうしてサマリアの女の私に、飲み水をお求めになるのですか。」ユダヤ人はサマリア人と付き合いをしなかったのである。

4:10 イエスは答えられた。「もしあなたが神の賜物を知り、また、水を飲ませてほしいとあなたに言っているのがだれなのかを知っていたら、あなたのほうからその人に求めていたでしょう。そして、その人はあなたに生ける水を与えたことでしょう。」

4:11 その女は言った。「主よ。あなたは汲む物を持っておられませんし、この井戸は深いのです。その生ける水を、どこから手に入れられるのでしょうか。」

4:12 あなたは、私たちの父ヤコブより偉いのでしょうか。ヤコブは私たちにこの井戸を下さって、彼自身も、その子たちも家畜も、この井戸から飲みました。」

4:13 イエスは答えられた。「この水を飲む人はみな、また渇きます。」

4:14 しかし、わたしが与える水を飲む人は、いつまでも決して渇くことはありません。わたしが与える水は、その人の内で泉となり、永遠のいのちへの水が湧き出ます。」

4:15 彼女はイエスに言った。「主よ。私が渇くことのないように、ここに汲みに来なくてもよいように、その水を私に下さい。」

イエス様の身に危険を感じたので、サマリアを通ることにしました。そこでこの女性に会って伝道の機会が与えられました。このように私たちが救いに導く人々は、計画外の出来事によって出会う人が多いものです。そのような伝道の機会を逃さないようにしましょう。背後に働いておられる主の期待に気づきましょう。

イエス様は初めから福音を語ったのではなく、この女性の興味関心、そしてニーズに応じて、伝道しました。これは彼女を慈しんでおられたからです。またその人の人格を尊重しておられたからです。そのような愛をもって伝道しましょう。

新しい年にその希望を持って、祈り続けましょう。チャンスを求めて祈ることで、チャンスに気づきましょう。

この女性は私生活に大きな罪と問題を抱えていましたが、イエス様の方から、しかも「飲ませてください」とへりくだって近づいてくださいました。それは永遠のいのちという「水」を飲ませてあげたかったから、すなわち救ってあげたかったからです。

私たちにもそのように近づいてくださったイエス様です。愛に感謝し、主に信頼しましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



2:1 そのころ、全世界の住民登録をせよという勅令が、皇帝アウグストゥスから出た。  
2:2 これは、キリニウスがシリアの総督であったときの、最初の住民登録であった。

2:3 人々はみな登録のために、それぞれ自分の町に帰って行った。

2:4 ヨセフも、ダビデの家に属し、その血筋であったので、ガリラヤの町ナザレから、ユダヤのベツレヘムというダビデの町へ上って行った。

2:5 身重になっていた、いいなずけの妻マリアとともに登録するためであった。

2:6 ところが、彼らがそこにいる間に、マリアは月が満ちて、

2:7 男子の初子を産んだ。そして、その子を布にくるんで飼葉桶に寝かせた。宿屋には彼らのいる場所がなかったからである。

2:8 さて、その地方で、羊飼いたちが野宿をしながら、羊の群れの夜番をしていた。

2:9 すると、主の使いが彼らのところに来て、主の栄光が周りを照らしたので、彼らは非常に恐れた。

2:10 御使いは彼らに言った。「恐れることはありません。見なさい。私は、この民全体に与えられる、大きな喜びを告げ知らせます。

2:11 今日ダビデの町で、あなたがたのために救い主がお生まれになりました。この方こそ主キリストです。

2:12 あなたがたは、布にくるまって飼葉桶に寝ているみどりごを見つめます。それが、あなたがたのためのしるしです。」

2:13 すると突然、その御使いと一緒におびただしい数の天の軍勢が現れて、神を賛美した。

2:14 「いと高き所で、栄光が神にあるように。地の上で、平和がみこころにかなう人々にあるように。」

イエス様は全能の創造主であるにも関わらず、皇帝アウグストに比べても小さな弱い存在として、この世に生まれました。そしてその謙遜の限りを尽くしたゆえに、全てにまさる栄誉をお受けになったのです。私たちは弱い小さな者であることを恥じることなく、むしろその謙遜を極めて生きましょう。そこにこそ主の栄誉が与えられることを知って、希望としましょう。

宿屋の主人は主イエスをお迎えするにはあまりにむさくるしい馬小屋を与えました。私たちは、救い主を心の王座に、人生の中心にお迎えしましょう。

飼葉おけに赤ちゃんとして地上に来られた救い主は、誰もがへりくだるなら会うことのできるお方として、そのようにお生まれになりました。主のこのような愛を覚えて、いつも主に近づきましょう。

また主が馬小屋にお生まれになったのは、人の心の汚れを、その身にお受けになるという象徴でもあります。私たちは、自分の汚れに敏感に気づき、正直にそれを認め、そして汚れているからこそ主をお迎えしましょう。そしてきよい者と変えていただきます。

羊飼いに救い主の誕生が告げられました。彼らはこの世的には報われない人生を送っていた人々でしたが、神様はそのような人々を見過ごしにはなさらないのです。むしろ、そのような人々を特別に愛して、その栄光を真っ先に表してくださいました。神様の価値観はこの世のものとは違い、ただその人の人格を尊重する愛の方であることが分ります。

羊飼いいたちのように、自分がみじめに感じたり、価値がないように感じる時は、主が見てくださるということを思い出しましょう。私たちもそのような愛によって育てられ、また同じよ

うに人格を尊重する者となりましょう。そして主に喜んでいただき、主に特別に扱っていただけることを信じて、与えられた働きに励みましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

